

# 令和8年 新年賀詞交換会

1月7日、中央生涯学習センター多目的ホールで新年賀詞交換会が開催され、233人の参加者が牛久市のさらなる飛躍、発展を祈りました。主催者代表の沼田和利市長のあいさつ(要旨)を紹介します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日ごろより市政各般にわたり、皆さま方からお寄せいただいております温かいご支援、ご高配に対し、深く敬意を表し衷心より厚く御礼を申し上げます。

## 物価高騰対策

市内のすべての世帯に一人あたり5000円の「牛久市生活応援商品券」を、日々の生活を応援し、地域経済への貢献のため配布します。

また、今年1月から小学校の給食費無償化を実施します。国では4月からの無償化を目指して予算化を進めていますが、市は子育て世代のご家庭を支援するため、前倒しで実施します。そして事業者支援です。介護事業所や障害者サービス、民間保育園・幼稚園、医療機関など社会を支える民間事業者への物価高騰対応の補助金を交付します。

## 迎える、市制施行40周年

今年、市制施行40周年を迎えます。市民の皆さまとともに祝うべく、さまざまな取り組みを進めています。昨年末、つくば科学万博で使われた「万博中央駅」の看板をひたち野うしく駅西口に設置し期間限定で展示しているほか、40年の歩みを振

## 親子特区!!うしく

り返る「フォトコンテスト」や、かつぱのキューちゃんの「デザイン・リニユール」を実施しています。また3月には、「NHKのど自慢」の放送を、5月には「開運!なんでも鑑定団」の収録を予定しています。

市は「親子がともに育ち合えるまち」を目指し、昨年10月に新たなブランドメッセージ「親子特区!!うしく」を発表し、11月には、その業務を担うため「親子のため課」を設置しました。また、12月には、子どもが生まれた世帯を対象にお子さまの名前と写真が入ったワイン、またはぶどうジュースの記念ボトルを贈呈する「親子のはじまりお祝いボトルプロジェクト」をスタートしました。今年には「親子未来ポスト」「親子ひろばプロジェクト」など、新たな展開を予定しています。

## 牛久シャトーの再生

牛久シャトーの事業再生に向けて、昨年「牛久シャトー株式会社事業再生計画」を策定しました。12月には「牛久市文化観光公園牛久シャトー」の設置及び管理に関する条例を制定し、令和9年4月から指定管理者制度へ移行する準備を進めています。

## 企業誘致の推進

令和6年4月に「牛久市特定中心市街地事業所開設等補助金」を創設し、中心市街地の活性化と企業誘致に取り組んでいます。今年1月にはエスカード牛久ビル3階に、障害者雇用支援施設「Diverse Village USHUKU」がオープンしました。

## 牛久のグルメづくり

新たな牛久のグルメを開発する「うしくグルメソン」を開催し、3事業者がアイデアを練り上げ、3つの商品が発表されました。また今秋に県主催で「シン・いばらきメシ」が2年ぶりに開催されます。

## 牛久の国際交流

市は昨年、姉妹都市である「カナダのホワイトホース市」「オーストラリアのオレンジ市」、友好都市「イタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市」との交流を継続しつつ、「台湾の桃園市」と「ジョージア国のテラヴィ市」との交流を始めたところです。今年は、これまでの姉妹都市等の交流を継続するとともに、新たな協定締結も視野に入れ、「テラヴィ市」や「桃園市」の幹部を牛久市に招待し、より一層の交流を進めていきます。

## アニメによるまちづくり

テレビアニメとのコラボレーション企画により、市外から多くの方が牛久に訪れ、大きな経済効果につながりました。

## 学校教育の支援

小中学校では、昨年よりグローバル化に対応するためALT(外国語指導助手)の採用基準を高め、英語授業の質を向上させるとともに、全ての教員がICTを活用して効果的な指導をできるようにするため、各学校に新たにICT支援員を配置し、タブレット等を活用した授業の支援に取り組んでいます。

## うしく河童大根

昨年は、4月にコンビニエンスストア「ローソン」でうしく河童大根を使った「ピリ辛味噌だれで食べる野菜スティック」が販売されたほか、5月に京都市で開催された「大根かつらむき世界一決定戦」においては、牛久の生産者が特別に栽培した大根が使用され、見事ギネス世界記録に認定されるなど話題となりました。今年もさらなるブランド価値向上を目指します。

## 東端穴土地区画整理事業

昨年、造成工事を開始しました。完了後には、約400区画、1000人規模の宅地供給を予定し、市の人口増加や地域活性化へ寄与することなど、大きな効果が期待されています。

## 窓口待ち時間ゼロ

昨年は、市役所窓口の受付手順の改善を行い、待ち時間の短縮をしました。今年は、さらに申請書類を記入しなくても済む「書かない窓口」の実現を目指し、必要なシステム導入の検討をしていきます。

今年は「午年」です。馬は古来より力強さと速さの象徴であり、前進や開運を意味する動物でもあります。それにあやかり、変化を恐れず「新しい挑戦」に踏み出し、スピード感を持って、行動していきます。皆さまにとって、この新しい年が、健康で幸せに満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。

